

「さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～」

1 趣 旨

- ・主体的に社会に参画しようとしている青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身につけ、将来のリーダーとなるための体験を通じた学びを提供する。
- ・5月に実施する「さんべボランティアセミナー」(以下:ボラセミ)の企画・運営に向けた話し合い活動や実習を通して、参加者同士のコミュニケーションを深めていく。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①企画編 平成30年4月20日(金)～4月22日(日) <2泊3日>
②本番編 平成30年5月25日(金)～5月27日(日) <2泊3日>
- (2) 会 場 ①島根県立青少年の家(サン・レイク)
(※島根県中部を震源とする地震の影響により会場変更)
②国立三瓶青少年交流の家
- (3) 参加者 ①企画編 9名 募集20名
②本番編 13名 募集20名
- (4) 研修内容

○さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～①企画編

4/20 (金)	20:30		21:00		22:00		23:00	
			受付 オープ ニング	実習① 「心をつなげるアイス ブレイク」	入浴	就寝		

4/21 (土)	6:30	9:00	12:00	13:30	17:10	19:00	21:00	23:00
	起床 つどい 掃除 朝食 移動	実習② 「ボランティアセミ ナーの話し合い①」	移動 昼食	実習③ 「プログラム体験:パウ ムクーヘンを作ろう」	つどい 夕食 入浴	実習④ 「ボランティアセミ ナーの話し合い②」	交流会	就寝

4/22 (日)	6:30	9:00	12:00	13:00	15:00
	起床 つどい 掃除 朝食 退所点検	実習⑤ 「ボランティアセミ ナーの話し合い③」	昼食	実習⑥ 「ボランティアセミ ナーの話し合い④」	解散

○さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～②本番編

5/25 (金)	20:30		21:00		22:00		23:00	
			受付 開講式	講義 「青少年教育施設の現状と運営」	入浴	就寝		

5/26 (土)	6:30	9:00	12:00	14:00	18:00	19:30	21:30	23:00
	起床 つどい 掃除 朝食	講義・演習 「救急救命法」	昼食	プログラム体験① 「パウムクーヘン 作り」	夕食 入浴	プログラム体験② 「キャンドルの つどい」	情報 交換会	就寝

5/27 (日)	6:30	9:00	12:00	13:00	15:00	16:00
	起床 つどい 掃除 朝食 退所点検	講義・演習 「ボランティア活動の意義」 「青少年教育」	昼食	講義・演習 「青少年教育施設におけるボラ ンティア活動の理解」	閉講式	解散

3 事業の内容

① プログラムデザインと企画のポイント

これまでに当施設で活動してきたボランティアが「先輩ボラ」として、ボラセミの企画及び事業運営の補助に当たる仕組みを取り入れることにより、先輩ボラが次の世代のボランティアの育成を継続していくことができるようにしている。

② 運営のポイント

「先輩ボラ」に、5月実施のボラセミ参加者への講義・演習「キャンドルのつどい」、「青少年教育施設におけるボランティア活動の理解」の2コマの企画・運営をしてもらうこととした。また、ボラセミの参加者が、効果的に学びを深めたり、円滑に人間関係を構築したりすることができるように、グループ単位での活動を多く設定し、本事業参加者が、グループリーダーを担うようにした。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	77	8	15	0
プログラム	77	15	8	0
運営	69	23	8	0
職員の対応	77	15	8	0

(2) 参加者の声

- ・スタッフ同士やボラセミ参加者たちが各講義や各研修を通して、友情や人間関係を築くことができた。
- ・今後、もっとボランティア活動の魅力を後輩たちに伝えていきたい。
- ・企画を立てる段階で、みんながより共感的な話の聞き方ができるとよかった。

5 成果と課題

《成果》

- ・ ①企画編は、4月9日未明に発生した島根県中部を震源とする地震の影響で、急遽会場を島根県立青少年の家（サン・レイク）に変更して行った。実際の活動場所と違うことで、活動場所の確認等が直前になってしまい不安もあったが、スタッフ間でコミュニケーションを取り、確認し合いながら最後の詰めを行い、企画した活動を実施することができた。
- ・ 参加者の声にもあるように、今後の活動に対する意欲や「先輩ボランティア」としての自覚を高めることができたとともに、自分たちの新たな課題を見つけることができた。

《課題》

- ・ ①企画編について、学生の集中講義の日程が重なったことで、参加者が少なかった。来年度から、島根大学の授業時間が変わり、金曜日からのスタートが難しくなることもあるため、さらに関係機関と連絡を密にして開催日時等の検討をしていく必要がある。



(担当：企画指導専門職 辻田 渉)